

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会会議録

日時：平成23年11月18日（金） 午後2時40分

場所：男鹿市役所 5階大会議室

出席委員 (19人)

1号委員	佐々木雅幸		
3号委員	三浦巖		
4号委員	糸井博	齊藤和夫	齊藤芳博
	鎌田栄光	山本次夫	
5号委員	大高誠悦	石垣禮之輔	齋藤登
	佐々木一義	石黒茂雄	高桑繁
	大淵俊三	仲村盛吉	鎌田力
6号委員	蓬田信昭	木村一裕	
7号委員	渡辺敏秀		

代理出席 (2人) (委員名) (代理者)

2号委員	管生伝	高橋公康
4号委員	中村和訓	小野学

欠席委員 (3人)

5号委員	高桑繁
6号委員	佐藤巳次郎
7号委員	伊藤正孝

出席事務局職員

① 総務企画課長 小 玉 一 克

② 総務企画課課長補佐 吉 田 悟

③ 総務企画課主事 渡 部 繁 基

第2回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会次第

日 時：平成23年11月18日 午後2時40分

場 所：男鹿市役所 5階大会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

(1) 議事録署名委員の選任について

(2) 経過報告について

資料1

(3) 地区説明会の結果について

資料2

(4) 平成24年度市運行路線の協議について

資料3 ～ 資料11

(5) 路線の一部廃止の合意について

資料12

(6) 市単独運行バスの時刻変更について

資料13

(7) 今後のスケジュールについて

資料14

3. 閉 会

午後 2 時 40 分開会

(総務企画課長)

ただいまから、第 2 回男鹿市地域公共交通活性化協議会総会を開催させていただきます。

本日の総会は、お手元にご配布してございます次第により進めさせていただきます。議事進行につきましては、会議規則により会長が務めることとなっておりますので、木村会長よりお願いいたします。

(木村会長)

それでは始めたいと思います。本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。

今回は 2 回目ということで、地区説明会の結果ですとか、平成 24 年度市運行路線の協議ですとか、路線の一部廃止ですとか、そういった議題がございます。6 件ほどございますが、皆様の活発なご発言をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

はじめに、次第 2 の (1) 議事録署名委員の選任についてお諮りいたします。協議会規約第 20 条第 3 項により 2 名の議事録署名委員を選任することとなっております。選任方法について、いかがいたしましょうか。

～事務局一任の声あり～

事務局一任との声がありましたが、よろしいでしょうか。事務局の方からお願いできますでしょうか。

(総務企画課長)

それでは、事務局からご提案申し上げさせていただきます。男鹿中振興会の大高委員と男鹿市建設課長の渡辺委員を推薦いたしたいと思います。よろしくお願いします。

(木村会長)

事務局より大高委員と渡辺委員を推薦する声があったので、お諮りいたします。両名を議事録署名委員とすることにご異議ございませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、議事録署名委員は、大高委員と渡辺委員に決定いたしました。よろしくお願いします。

それでは次に、(2)「経過報告について」および(3)の「地区説明会の結果について」を事務局から説明願います。

(総務企画課長)

それではお手元の資料の①でございますが、1ページをご覧いただきたいと思います。

平成23年度、男鹿市公共交通活性化協議会・事業経過報告でございます。まず、本年7月21日でございますが、協議会総会を開催させていただいております。平成23年度の市単独運行バスの利用状況、そして概要、そしてまた平成22年度決算の認定についてご審議をいただいております。

②でございますが、路線バス再編に関する地域説明会を開催いたしてございまして、9月の26・27・28の3日間、それぞれ記載の会場において、説明会を開催してございます。それから先月10月11日でございますが、庁内検討会を開催してございまして、平成24年度市運行路線の検討をいたしてございます。そしてまた同じく10月の18日でございます。幹事会を開催してございまして、本日総会の議案等の決定をしてございます。そしてまた本日18日でございます。協議会総会を開催をお願いしてございまして、平成24年度市運行路線の概要等々につきましてご審議をいただくものでございます。それでは次のページでございます。2ページをお開きいただきたいと思います。

資料の2となつてございます。資料の2につきましては、平成23年度路線バスに関する地域説明会結果表でございます。先ほど申し上げましたように、9月の26日でございますが、まず若美地区を対象に実施してございまして、参加数は10人の出席者でございました。主な意見・要望につきましては記載の通りでございまして、実際にバスに乗る人は、こういった説明会には参加できないと、なんとかPR・周知してほしいという風なご意見、7:32でございますが下五明光発の便は定時定路のままで残してほしいというようなご意見、そしてまた3つ目でございますが、電車との接続・乗り継ぎに不便を感じ、乗車しない人がいるのではないかと、そしてまたフリー乗降にしてほしい降りるときだけでもよいので、という風な意見がございまして、左側記載の通りの回答を事務局からいたしてございます。

そしてまた、同日26日宮沢地区を対象に説明会を実施してございます。出席者は7人でございました。そのときには運行便数が減少しても定時定路路線のほうがよい、そしてまた高齢者にとっては電話で予約をすることは大変困難だ、数便でよいから定時定路路線を残していただきたいという風なご意見がございました。3つ目の意見でございますが、デマンド方式ということで、一時間前の予約が必要となります、特に冬の雪道などではバスは発射時刻までに来てくれるのか、という風な不安なご意見がございました。このことについては記載の通りの回答をいたしてございます。

9月の27日でございますが、入道崎で開催してございます。出席者は27人でございました。デマンドということで、電話予約に対して、不便を感じ、使いづらくなるのでは

ないか、という風なご意見、そしてまた観光客向けの周知をしてほしい、そしてまた予約方法を簡単にわかりやすい対処をしてほしい、という風なご意見がございまして、記載の回答を事務局からしてございます。

そして同日 27 日西黒沢におきまして開催してございまして、参加数は 32 人でございました。乗車人数が少ないからといって、予約式の運行形態へ変更するのは、過疎地の住民に対する思いやりが足りないのではないかという風なご意見がございまして。そしてまた、高齢者にとっては予約の電話をかけることは想像以上に困難である、という風なご意見、3 つ目でございますが、乗車人員が少ないと言われても、住民の数が少ないのだからどうしようもない、市役所の方では現状の路線形態を維持してほしいという風なご意見でございます。

それから 9 月の 28 日は戸賀地区にて実施してございまして、参加数は 17 人でございました。男鹿北線が減便する見込みということで、このことについて市としては何か対応できないか、そしてまた予約はいつまでに行えばよいのか、3 つ目でございますが、病院での診察が想定以上に時間がかかることがある、午後の便は全て存続してほしい、という風なご意見でございます。4 つ目でございますが、観光客にとっては不便ではないのかという風なものでございます。

一番下でございますが、同日 28 日加茂青砂地区で実施してございます。20 人の方から出席していただいております。下りのデマンドタクシーを予約したが、タクシーの到着が遅く、待たされたことがあったという風なご意見に対しまして、記載の回答をしているところでございます。

以上が説明会の結果でございますので、ご報告申し上げます。

(木村会長)

ありがとうございます。ただいま事務局から説明がありましたが、何かご質問はございませんでしょうか。

(仲村委員)

9 月 26 日の宮沢と、9 月 27 日の西黒沢におきまして、高齢者にとって電話予約をすることは困難で数便でもよいので定時定路路線を残してほしいとの要望に対し、検討するとの回答をしているが、西黒沢についてはご回答がないようですが、この辺についてはどのようにお考えでしょうか。

(吉田補佐)

それではご質問にお答えいたします。できれば予約がなかなか難しいということでございましたので、事務局としては、この後の説明にも出てきますけれども、定時定路の路線を数便残すという案で進めてございます。予約ということになりますと、特に朝の便であ

りますと前日からの予約か朝早くにお電話しないといけないということでご負担をかけるというところがあるかと思いますので、そのような計画を立ててございます。

(仲村委員)

ありがとうございました。

(木村会長)

そのほかございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

説明はまた後ほどにもあるということで、今の段階で経過報告についてと地区説明会の結果についてはただいまの案で認定してよいかお謀りします。ご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、経過報告および地区説明会の結果についてはこの案で認定いたしました。

次に（４）の平成 24 年度市運行路線の協議について、事務局から説明をお願いします。

(吉田補佐)

資料 3、3 ページをお開き願います。平成 24 年度の、市運行路線について協議についてご説明させていただきます。おそれいりますが座って説明いたします。3 ページは男鹿中線のバス時刻表の案でございます。こちらのダイヤは現在運行しているものとまったく同じダイヤでございます。来年度の上りの便は朝 1 便ですが定時定路で、下りはそれぞれの拠点からの予約運行ということで想定をしてございます。詳しいお時間につきましては、JR、秋田中央交通の幹線との連絡により若干の変更が予想されておりますのでおねがいたします。

次のページ 4 ページをお願いいたします。こちらは五里合線バス時刻表の案でございます。これも現在使っているダイヤとほぼ同じでございますが、黒く塗っているところ 3 便は地元の五里合線をご利用されていらっしゃる方が、JR との連絡をスムーズにしてほしいという要望がございましたので、幹線の船越線との待ち時間は増えますが、JR と確実につながるよう変更させていただくためのものがございます。これも先ほどのとおり、JR の時間が確定してからの時刻ということになります。よろしくお願いいたします。

次のページ、5 ページをお願いいたします。このバス時刻表は、潟西北部線のバス時刻表ということでございまして、潟西線との連絡がとれているというダイヤでございます。こちらにつきましては本年 4 月からの乗降調査を繰り返しておりますが、非常に乗降客が

少ないということで、予約方式に変更するという事で第1回協議会総会でご承認いただきました。それを地元へ持ち帰りまして、説明会を開催したところ、難色を示されてございます。その原因となっておりますのが、利用するたび予約をしなければならないということで、全国的にも予約便というのは行われているところが非常に多いので、なるべく慣れていってほしいということを繰り返し説明させていただいたのですが、なかなか難しいということでございましたので、黒枠の部分、朝の二便ですけれども、こちらを予約がなくても走るという便にいたしまして、これに乗った方が帰りの便を乗車の状態で予約ができるという形をとれば少しは予約に対してのご負担が軽減できるのではないかとということでこちらで発案をしたところでございます。こういう腹案を持っていったのですが、ご高齢の方は難色を示してございました。ただ、乗降客が少ないということでございましたので、慣れていただくよう今回変更し、また来年検討するという事で考えてございます。

次のページお願いいたします。6ページでございます。こちらは入道崎線でございます。入道崎線は湯本駐在所前から入道崎までを運行している便でございます。現在はジャンボタクシーで定時定路という形で運行してございますが、乗降テストを行った結果、まったく乗らないという便も存在するという事でございました。説明会にもありましたが、難色を示した地域というのがございました。こちらから回答いたしましたが、なかなか聞き入れていただけなかったため、解答欄は空欄になっているわけでございます。ここも同じように朝の二便、潟西北部線と同じ考え方で、予約なしで運行し、帰りの便をその場で予約してもよいという風に考えてございます。細かい時刻・連絡便につきましては、このとおりにはなりません、このような考え方でいきたいと考えてございます。

次のページ7ページをお願いいたします。

こちらは戸賀加茂線ということでございまして、現在、秋田中央交通の方に戸賀線は湯本駐在所前から水族館までの間を委託運行してございます。そして男鹿水族館前から加茂までの間、こちらはデマンド輸送ということで、秋田観光バスへ委託をしてございます。一年間の実証運行の実績によりまして、大きなバスではなく小さいバスでも戸賀線の場合は運行が可能である、ということが実証されましたので、この路線をマイクロバスで運行するという計画になってございます。ところが、加茂の方がもし今の形態で行く場合、加茂から乗車しまして男鹿水族館でマイクロバスに乗り換えます。マイクロバスに乗り換えてさらに湯元駐在所で秋田中央交通の男鹿北線に乗り換えるということで、乗り継ぎが一回増えてしまうということが一つの難点となっております。そのために、利用者の利便性というものを優先させまして、乗り換えの回数をできるだけ少なくしようということで、こちらを一本の路線をまとめたものでございます。こちらも同じような考え方でございまして、黒枠の部分、こちら朝の便を定時定路で運行いたします。そして帰りの便はその場で予約ができるという風にさせていただきたい、という風に考えてございます。

次のページをお願いいたします。こちらは、戸賀加茂線の路線図の案でございます。現在、2つの路線という風に運行してございますが、これが一本の路線となった図というこ

とでここにらせていただきます。

次のページをお願いいたします。

こちらは戸賀加茂線と一路線もなった場合の料金表でございます。（ ）で表示されているのが現在の料金表でございます。上の部分が戸賀線でございます、下の部分が加茂線ということになります。こちらを今度は一本の長い距離の一路線ということになりまして料金は通算距離での設定をさせていただきます。おおよそ6キロ100円という設定をさせていただきます。

次のページをお願いいたします。こちらは安全寺線のバスの時刻表の案でございます。安全寺線は北浦市民センターから温浴ランドを経由して、安全寺上丁にいたる経路をジャンボタクシーとマイクロバスで走行してございます。こちらの路線は割と乗降客がありましたので、定時定路の路線の形態を維持しながら平成24年度運行していきたいという風に考えてございます。黒くなっているところが、安全寺線の各バス停の時刻を表してございます。男鹿北線等のダイヤにつきましてはこれから変更が予想されておりますのでご了解をお願いいたします。

次のページをお願いいたします。資料の11でございまして、男鹿市の委託路線の概要ということでございまして、本市の市単独運行バスの委託路線の基本的な考え方ということでここに書いてございます。委託運行の実施理由といたしましては、郊外部における赤字額の大きな不採算路線は、ダイヤ改正・路線再編を行っても、赤字路線からの脱却は難しく、地域住民の移動手段の確保を図り、合わせて、市の負担を軽減させるため、市が事業主体となる「委託運行」を実施するものであります。こちらは昨年度も一緒でございます。2番の委託運行の定義でございますが、廃止となった路線バスを、市が事業主体となり「代替バス」として運行することを言います。運行事業者の運行に関するノウハウを活用し、適切な運行が確保できるというものでございます。

3番目は委託運行の利点でございます。1点目は、多様な運行が可能となり、利用者のニーズに答えることができる、2点目は事業主体が市であるため、利用状況に応じた路線再編・ダイヤ改正について市の判断で対応可能となります。

4番の委託運行期間平成24年4月1日からとなっております。

5の路線系統についてですが、平日は6路線7系統63便でございます。休日は6路線7系統53便でございます、内訳はご覧のとおりとなっております。経路につきましては、男鹿中線は浜間口から男鹿中公民館にいたる経路、開から五輪台、仁井沢から馬生目入口と三系統に分かれてございます。五里合線につきましては、中石から脇本駅、潟西北部線につきましては下五明光から若美総合支所前、入道崎線につきましては入道崎から湯元駐在所、戸賀加茂線につきましては加茂から湯元駐在所、安全寺線につきましては安全寺上丁から北浦市民センター前でございます。

7の運行時間につきましては、別途提示ということで、先ほどのダイヤを基本といたしまして、調整のうえ、決定いたします。

運行車両でございますが、受託事業者が用意するということになります。

9 番の運行運賃でございますが、これも別途提示ということでございます。

10 番の委託事業者は、委託運行開始時で市内に事業所等を有する一般旅客自動車運送事業者の許可を取得した事業者ということでございます。

以上で平成 24 年度の市運行路線の協議についての説明を終了いたします。よろしくお願いいたします。

(木村会長)

ありがとうございました。ただいま事務局から説明がありましたけれども、何かご意見やご質問はございませんでしょうか。

(齋藤委員)

幹事会のときにもご指摘があった条項ですけれども、例えば 5 ページの資料 5 の一番初めの若美総合支所に 6:59 に来て 6:59 発の路線に乗る場合、瞬間移動でもしないとバスに乗れないという状況があるということを前回ご指摘したのですが、その辺は、入道崎線もまた同じようなところがございますし、戸賀加茂線も一部見受けられるので、最後、ここはご年配の方が多いとすると、走って乗る状態ですので、その辺やはり 5 分程度の余裕がほしいという必要ではないかという風なことがあったと思いますので、ご検討のほどよろしくお願いいたします。

(吉田補佐)

やはり乗り継ぎということになりますと、ご指摘の通り同発ということは考えられないということで、こちら私の間違いでございます。やはり 3 分ないし 5 分の時間をおいた形でダイヤを再編したいという風に考えておりますので、よろしくお願いいたします。

(木村会長)

そのほか何かございませんか。

すいません、私からよろしいでしょうか。

(吉田補佐)

はい。

(木村会長)

早朝の便については定時定路路線という風に考えていると思いますが、毎日走るということになりますよね。で、従来だとそんなにお客さんがいるものなのか乗らない場合もあるのかその辺の状況はいかがでしょうか。

(吉田補佐)

朝の便につきましては、乗降試験をした結果、上りの6時代、7時代、路線によっては8時代もありますが、6、7時は乗降客が集中している路線でございます。おそらくご高齢者が病院に行く時間帯か、通学されているお子さんが利用している時間であると考えてございますので、教育委員会の方からも、乗降客の多い時間帯はなるべく定時定路で走ってほしいとのご要望をいただいておりますので、6・7時代は定時定路にしてもよいかと考えてございます。

(木村会長)

はい、わかりました。そのほか、ご意見ございませんでしょうか。まあ地域説明会の意見交換をふまえてこの資料を作成したということで、特にご意見がなければ、平成24年度市運行路線の協議について本案の通り認定してよいとお諮りいたしますがよろしいでしょうか。

～異議なしの声あり～

(木村会長)

ご異議がないようですので、平成24年度市運行路線の協議については本案の通り認定いたします。

それでは議事の(5)路線の一部廃止の合意について、事務局から説明をお願いします。

(吉田補佐)

それでは路線の一部廃止の合意につきましてご説明をいたします。12ページ資料12をお開き願います。こちらは現在実証運行を実施しております、戸賀線の一部廃止についての合意の文書でございます。本路線は秋田中央交通株式会社が市の運行を受託して運行しております。男鹿北線との乗継がないように同一バス車両で運行しておりますが平成24年4月1日から湯本駐在所から加茂間をマイクロバスにて運行する予定となっております。こちらの一部廃止の合意につきましては、国土交通省への手続きが必要になるものでございます。よろしくお願いいたします。対象路線といたしましては①戸賀線湯本駐在所から男鹿水族館でございます。起終点をご覧のとりの表示であります。往路復路とも7,2km、廃止予定日は平成24年3月31日となっております。よろしくお願いいたします。

(木村会長)

ただいま事務局から路線の一部廃止の合意について説明がありましたが、質問やご意見ございませんでしょうか。それでは路線の一部廃止の合意について本案の通り認定してよ

ろしいかお諮りします。ご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

(木村会長)

ご異議がないようですので、路線の一部廃止の合意について本案の通り認定いたしました。

それでは議事の(6)市単独運行バスの時刻変更について事務局から説明おねがいします。

(吉田補佐)

はい、それでは市単独運行バスの時刻変更につきましてご説明いたします。13 ページお願いいたします。資料の13でございます。こちらは安全寺線のダイヤ改正のお願いをするものでございます。本件につきましては、地元の方からの要望によりましてダイヤ改正をするものでございますが、この表の上段、これが現在走っている運行ダイヤでございます。そして下段が変更後ということで、変更箇所につきましては黒く塗っている部分ということで、現在の時間より約1時間後になるということでございます。こちらの地域の方の要望で地元の方が北浦市民センターへ朝出かけた際に、帰りに利用する下りの朝の便、こちらが北浦市民センター発8:48発ということになっております。市民センターが開始されるのが8:30でございますので、この18分の間で用事を足して帰るということが非常に難しいということで、用事を足す時間が欲しいとのこと。そして男鹿北線との連絡ということ念頭に検討した結果、下りが北浦市民センター9:45という便に変更すると男鹿北線との連絡もできるということでございます。このダイヤ改正につきましては、市報等の周知の期間も勘案して、来年1月からの実施をお願いするということで地元との調整を図りたいという風に考えてございますので、よろしく申し上げます。

(木村会長)

ただいま、事務局から市単独運行バスの時刻変更について説明がありましたが、質問やご意見はございませんでしょうか。

ご意見がないようなので、市単独運行バスの時刻変更について本案のとおり了承してよいかお諮りいたします。ご異議ありませんか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、市単独運行バスの時刻変更については本案のとおり認定いたしました。

それでは議事の(7)今後のスケジュールについて、事務局から説明願います。

(吉田補佐)

それでは、今後のスケジュールにつきましてご説明をいたします。14 ページをお願いいたします。こちらは平成 23 年度からのスケジュールを記載してございます。中ほどより下、11 月中旬でございますが、今回の地域公共交通活性化協議会総会となっております。そして 1 月に入りますと、市単独運行バスの委託事業者の決定がでございます。こちらの決定を受けまして、1 月の下旬には幹事会、2 月には総会でご報告させていただきます。その総会には来年度のスケジュール等もご説明させていただきたいと考えてございます。よろしくお願いいたします。

(木村会長)

ただいま、事務局から今後のスケジュールについて説明がありました。ご質問やご意見はございますか。

それでは、今後のスケジュールについて了承してよいかお諮りいたします。ご異議ございませんでしょうか。

～異議なしの声あり～

ご異議がないようですので、今後のスケジュールについては本案のとおり了承いたしました。

ほかに何かございませんでしょうか。

本日は様々なご意見をいただきましたが、それらを踏まえ、今後の事業を進めさせていただきたいと思います。

それでは、ここで議事を終了いたします。ありがとうございました。

午後 3 時 25 分閉会

会議の次第を記載し、これを相違ないことを証明するためにここに署名する。

平成23年12月21日

会 長 木 村 一 裕

委 員 大 高 誠 悦

委 員 渡 辺 敏 秀